

Q&A

急速増大をきたした肝腫瘍の1例

【問 題】

症例：60歳代，男性。

主訴：特になし。

現病歴：X年9月に人間ドックで施行した腹部超音波検査で多発肝腫瘍（最大径約80mm）を指摘され，当院紹介となった。

既往歴：腹部大動脈瘤，脂質異常症，左小脳梗塞，右椎骨脳底動脈解離。

内服薬：抗血小板薬2剤，脂質異常症治療薬2剤。

生活歴：飲酒歴 機会飲酒，喫煙歴 10本/日×11年間，30歳で禁煙。

家族歴：特記事項なし。

血液検査所見：WBC 3260/ μ L，RBC 410万/ μ L，Hb 12.7g/dL，Plt 7.7万/ μ L，PT 83.5%，PT-INR 1.10，D-dimer 9.1mg/L，TP 7.7mg/dL，Alb

44g/dL，AST 41U/L，ALT 25U/L，LDH 233U/L，ALP 101U/L， γ GTP 86U/L，TB 1.5mg/dL，Cre 0.93mg/dL，BUN 11mg/dL，CRP 0.22mg/dL，AFP 3.3ng/mL，PIVKA II 21.5mAU/mL，CEA 2.1ng/mL，CA19-9 7.9U/mL，NSE 12.7ng/mL，sIL-2R 546U/mL。

HBs抗原陰性，HBs抗体陰性，HBc抗体陰性，HCV抗体陰性。

画像所見：腹部造影CT検査（Figure 1），腹部MRI検査（Figure 2），PET-CT検査（Figure 3）の画像を示す。

なお，X年7月に腹部大動脈瘤のフォローアップ目的で腹部単純CT検査を施行しているが，肝内病変の指摘はなかった。

上部消化管内視鏡検査・大腸内視鏡検査：特記所見なし。

肝腫瘍の考えられる診断は？

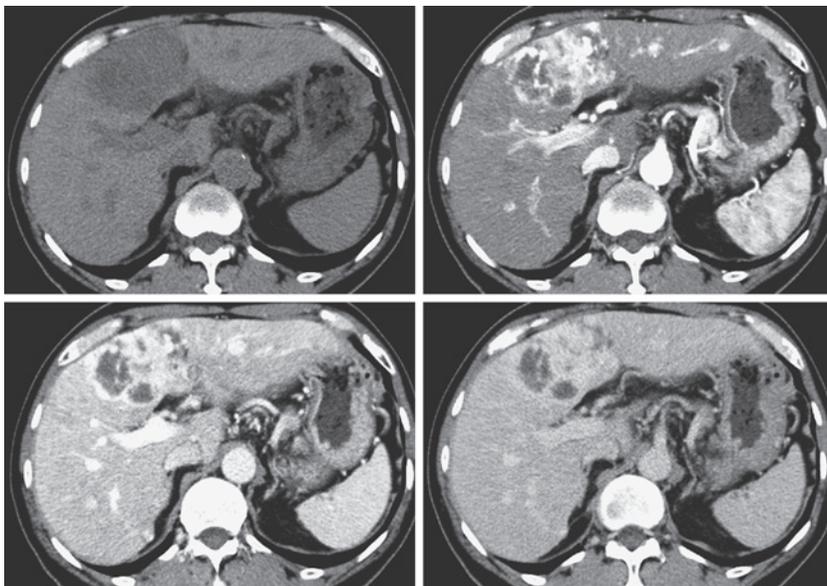


Figure 1. 腹部造影CT検査画像（左上：単純，右上：動脈相，左下：門脈相，右下：平衡相）。

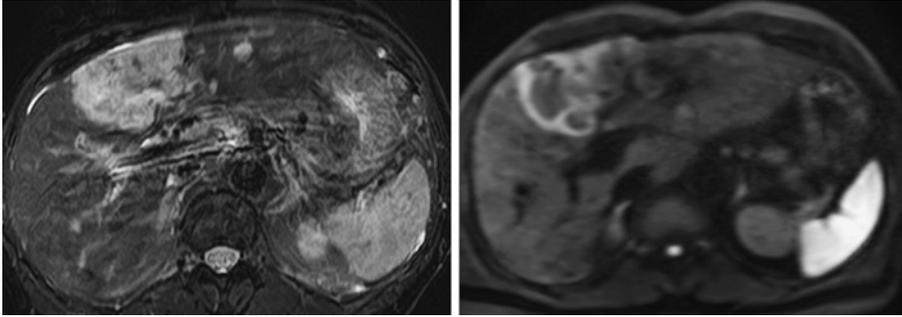


Figure 2. 腹部 MRI 検査画像 (左: T2 強調画像, 右: 拡散強調画像).

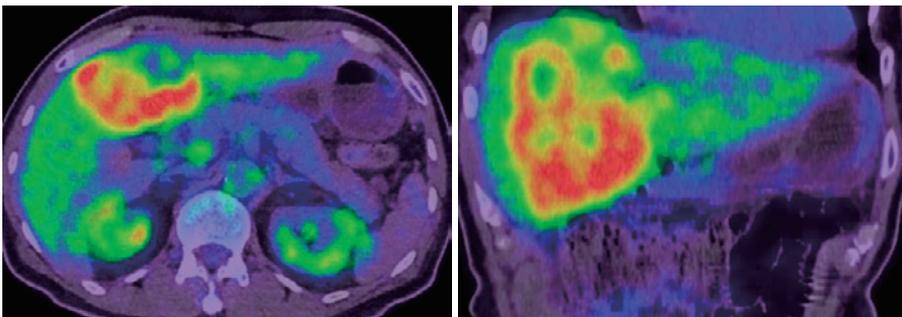


Figure 3. PET-CT 検査画像 (左: 水平断, 右: 冠状断), 腫瘍は SUV max 8.24 の FDG 集積亢進あり.